

かけがえのない今を、輝ける未来に繋ぐ治療用ミルク



私たちは…

先天代謝異常症やてんかんなど、「治療用ミルクを必要としている」という共通点を持った患者会の集まりです。

私たちは幸いにも今、この治療用ミルクの恩恵を受けています。

しかし現在、乳業会社の社会貢献事業として成り立っているこの治療用ミルク事業は、費用面・製造面で大きな不安を抱える事態となっています。この価値ある事業が、破綻してしまわないように、次世代の赤ちゃんが安心して生まれ育つことができるように……。そんな思いを持ち、まずは、治療用ミルクとそれを必要とする私たちのことを知っていただくための活動をしています。

治療用ミルクの問題とは？

治療用ミルクは医師によって処方され、現在ありがたいことに患者へ安定的に支給されています。

しかしミルクの製造には莫大なコストがかかっており、その費用の多くをミルクメーカーが善意で負担してくださっています。国と折半となっている登録ミルクも、国家予算の区分変更にあたり対応しきれなくなる恐れがあり、生涯に渡っての安定供給に課題があるのが現状です。

先天代謝異常症の治療を目的に作られたものは「特殊ミルク」とも呼ばれます



メーカーと
国で折半



登録ミルク
先天代謝異常症など



メーカーが
全負担

治療用
ミルクの
分類と
製造費

H28.4



登録外ミルク
先天代謝異常症、てんかんなど

メーカーが
全負担



医薬品ミルク
フェニルケトン尿症など

健康保険
適用



市販品ミルク
アレルギー、乳糖不耐症など

有料販売

図のように登録ミルク・登録外ミルクなど4つに分類され、生産量も年々増加傾向にあります